



◆米軍再編問題で沖縄はじめ各地の基地周辺に強い抗議の声が上がっています。移駐する海兵隊のためのグアムの施設建設費を日本が負担するため、新法の用意までするという報道には驚きます。こんな話は、世界のどこにもないでしょう。事態のひどさに、抗議声明をつぎつぎ出すことになり、今号も原稿の量がはみだし、ついに38ページになりました。

◆いよいよ第5期の意見広告運動がよびかけられました。状況が状況だけに、これまでよりもかなり幅の広い著名人の方がたが賛同されています。事務局には、毎日、分厚い振替用紙の束が届き、チラシの注文も各地から続々寄せられ、スタッフは対応に大奮です。

◆意見広告運動が作成した新しい「九条

市民の意見30の会・東京
2005年9～10月 会計

1. 収入	
一般会費	226,000
協力会費	109,700
敬老会費	52,000
身障者会費	2,000
(会費小計)	389,700
カンパ	142,000
ニュース販売	8,500
バッジ等販売	5,250
集会参加費(*1)	4,500
立替金精算(*2)	15,070
預かり金(*3)	40,300
収入計	605,320
2. 支出	
印刷費(*4)	202,664
発送費(*5)	123,712
通信費(*6)	16,345
事務用品	15,109
編集費	2,140
制作費(*7)	315,000
会場費	4,000
賛同費(*8)	2,000
事務所費	220,000
光熱費	13,794
交通費	10,000
送金手数料	1,543
預り金精算(*9)	40,300
雑費	346
支出計	966,953
3. 収支	
	- 361,633
前月からの繰越	4,293,121
次月への繰越	3,931,488
残高の内訳	
会基本会計	1,804,997
条約基金	176,715
次期意見広告	1,326
F/I基金	1,916,240
預り金(*10)	32,210
計	3,931,488

注 注 (*1)10/14 読者懇談会 (*2)光熱費と電話料の意見広告運動分担分 (*3)意見広告運動への賛同金 (*4)うち、News No.92 印刷費 ¥190,398 (*5)うち、News No.92 発送費 ¥95,800 (*6)内、biglobe ¥4,200 他は電話料 (*7)7月発注バッジ代 (*8)反戦と抵抗のフェスタ (*9)市民意見広告運動への預かり金を精算 (*10)他団体への送金分

古沢さんの報告は、「憲法九条・非暴力直接行動(市民的不服従)」についてです。

◆針生一郎さんをお招きしての9月の「読者懇談会」も好評でした。次の読者懇談会は、古沢宣慶さんを囲んで開かれます。古沢さんの報告は、「憲法九条・非暴力直接行動(市民的不服従)」についてです。

◆デザインは2種類、それぞれ大小があり、大は直径5・5 cm、小は3・3 cm、上質ラスターバッジです。値段や送料などは32ページに。なお、これまでの「殺すな」バッジやシールもよろしく。

◆『ニュース』の文章の活字は、今号ではすべて10ポと大きくしました。



12月15日(木)午後7時から、前回と同じく水道橋の「たんぼ舎」(電話03-3238-9035)です。ぜひご参加ください。参加費三〇〇円です。(YY)

会計係より

今期は赤字会計になりました。主要な原因は、追加製作した「殺すな」バッジの代金31万円強を支払ったためですが、しかし、その分を引いても、やはり赤字です。前期に比べて、会費収入もカンパもかなり減少しています。第5期意見広告運動も始まり、それへの賛同金もあるところですが、本会への年末カンパもぜひお願いしたいと思います。

会員の増加もストツプしています。お知らせ合いの方にぜひ『ニュース』をお勧めください。見本誌をすぐにお送りします。